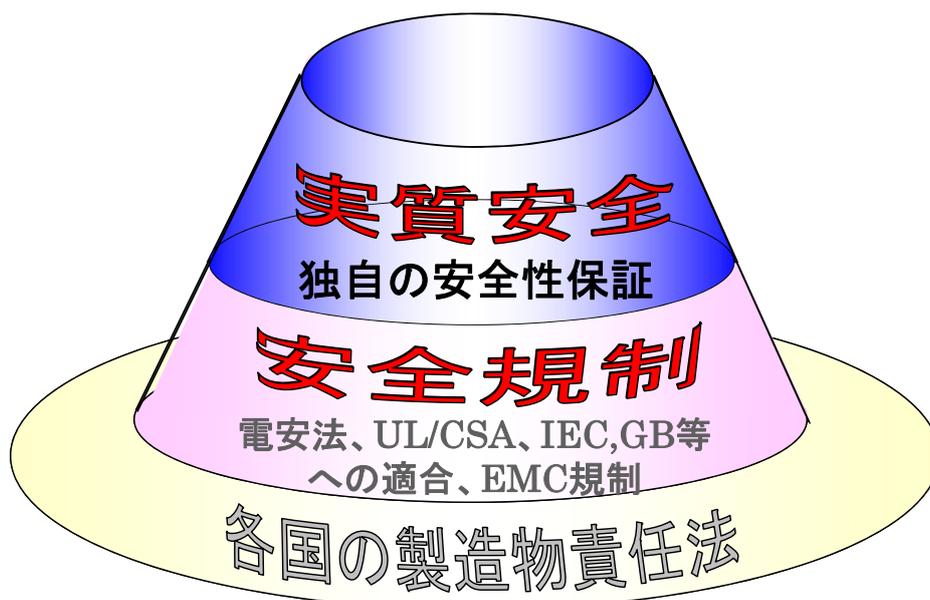


1.企業(メーカー)で、製品安全を 管理・担当していた立場からの 経験談

2014年6月18日 東京
2014年6月25日 名古屋

製品安全対策優良企業表彰
審査委員 渡部利範

「法規制の遵守と実質安全性の確保」
この方針を社内に徹底させること



実質安全性: 法律や条例などをベースに実際のお客様の立場を
想定して安全性を確保すること。

事故予防の面で 苦勞したこと・上手くいったこと ～事故防止の解決の鍵は技術的解決～

良き仲間とチームを組む

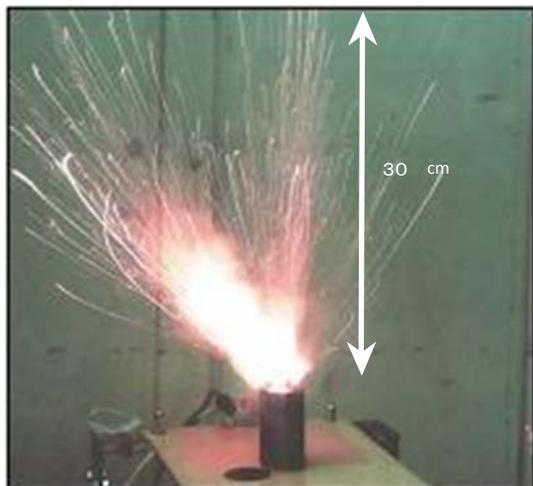
1980年代、家電業界でコンデンサーの発火事故があり、複写機でも対策が急務だった。

私は、複写機の設計部門、複写機の品保部門、プリンタの品質部門等の良き仲間とチームを組んだ。

電気設計者が頭を悩ましているフィルムコンデンサとアルミ電解コンデンサの安全性の課題解決に仕事を絞った。

これを解決して、各事業部の設計者に「法規制の遵守と実質安全性の確保」の考え方に振り向いてもらう作戦である。

実用化した発火しないアルミ電解コンデンサ



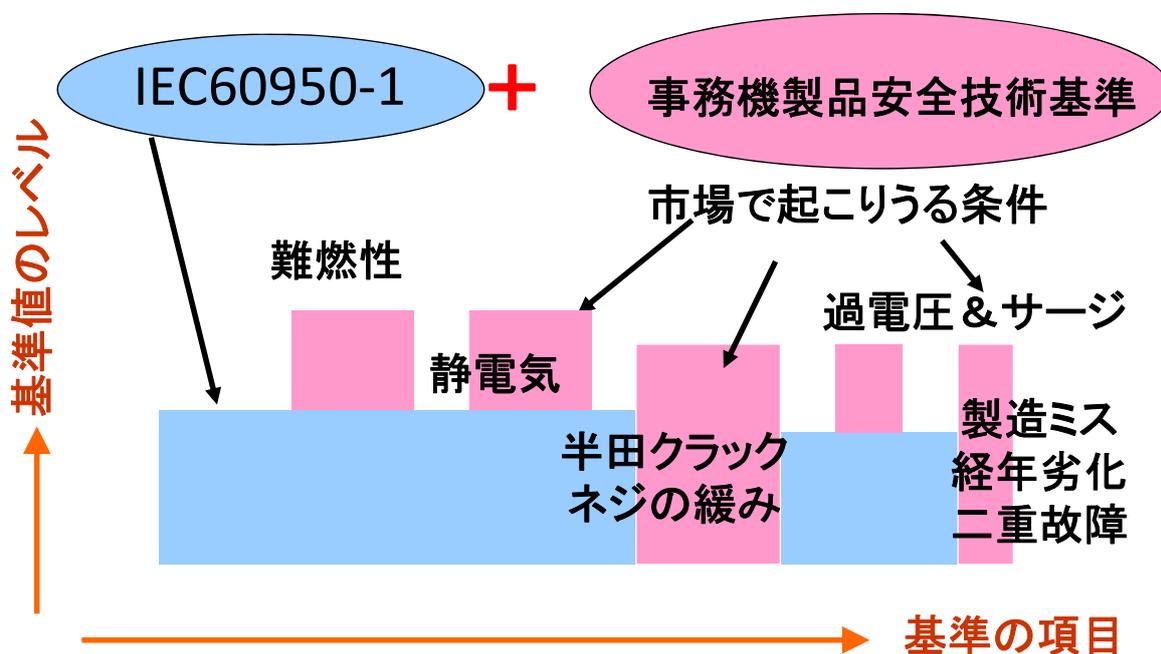
内部ショート発生 発火有り
火炎高さ最大300mm
継続時間数秒



内部ショート無し 発火無し

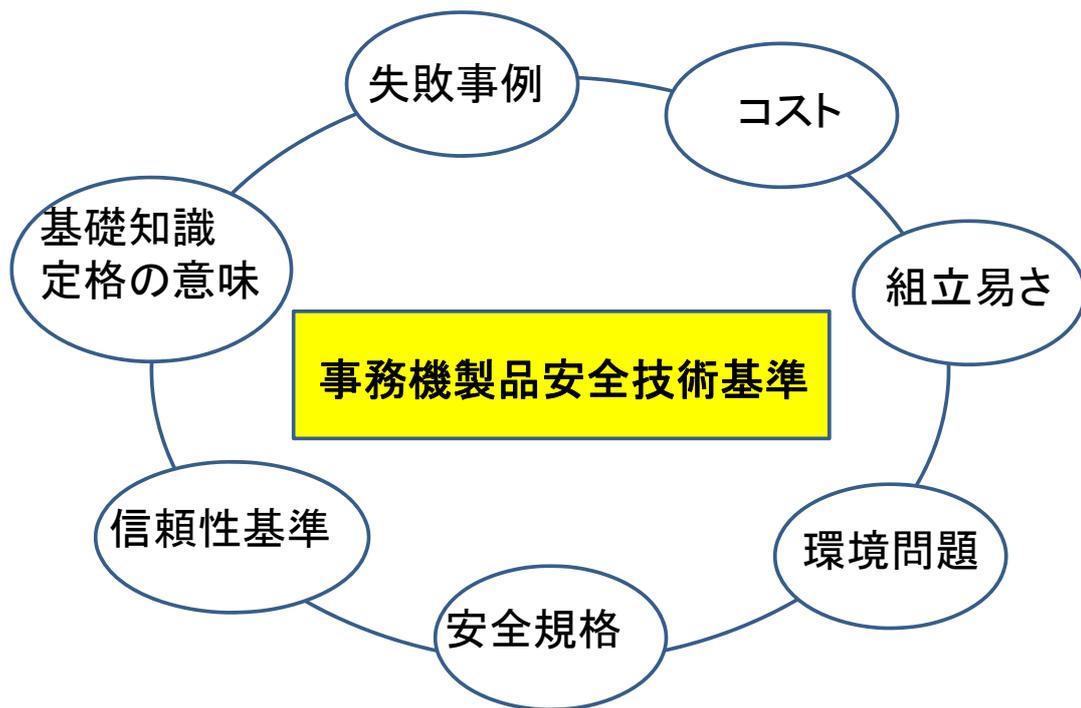
5

事務機製品安全技術基準と IEC60950(安全規格)との融合化を実現



6

事務機製品安全技術基準に 経験・知識を終結させた



7

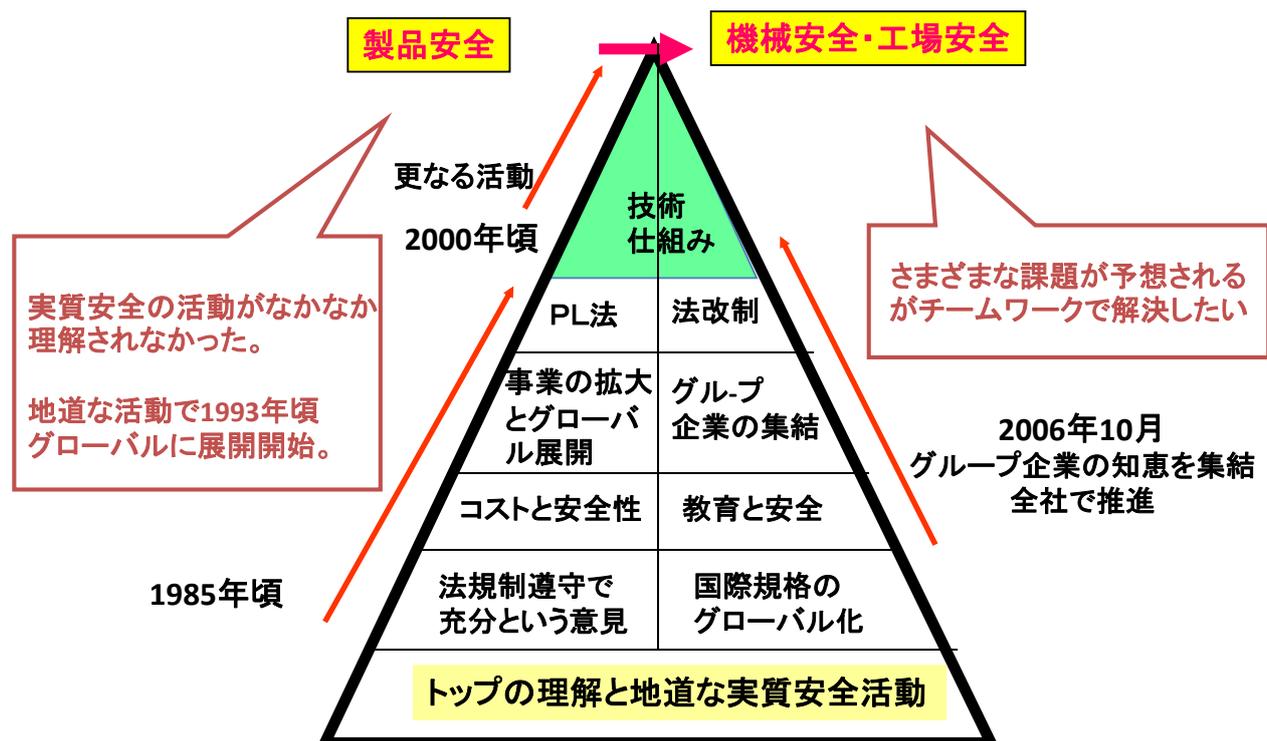
体制・仕組み作りの面で
苦勞したこと・上手くいったこと

～先を読み事業部へ積極的に仕掛ける～

米国・仏・伊の現地生産、PL法制定 グローバル展開、事業の展開に合わせてテーマ設定

	年	内 容
1970年代	71	製品安全課の発足(安全規格取得、EMC測定)
1980年代	85	実質安全活動をスタート
1990年代	90	複写機の実質安全支援チームの発足
	92	事務機製品安全技術基準(CSBR)を発行
	93	製品安全技術委員会の発足
	96	製品系列別の社内の安全技術基準の完備
		PL文書管理体制の整備完了
	98	バリスタ発火ゼロ委員会、怪我ゼロ委員会の発足
	99	CSBRの電子化完成、Web公開
2000年～	00	実質安全活動のアジア展開の開始
	00	試作レスに対応する評価ツールの開発の開始
	01	PL危機管理体制の構築
	04	電源品質測定と対策技術の確立の完了
	05	延焼防止基準の見直し完了

製品安全に関しては、1980年代にスタート展開
機械安全・工場安全に関しては、2006年全社的な推進を決意

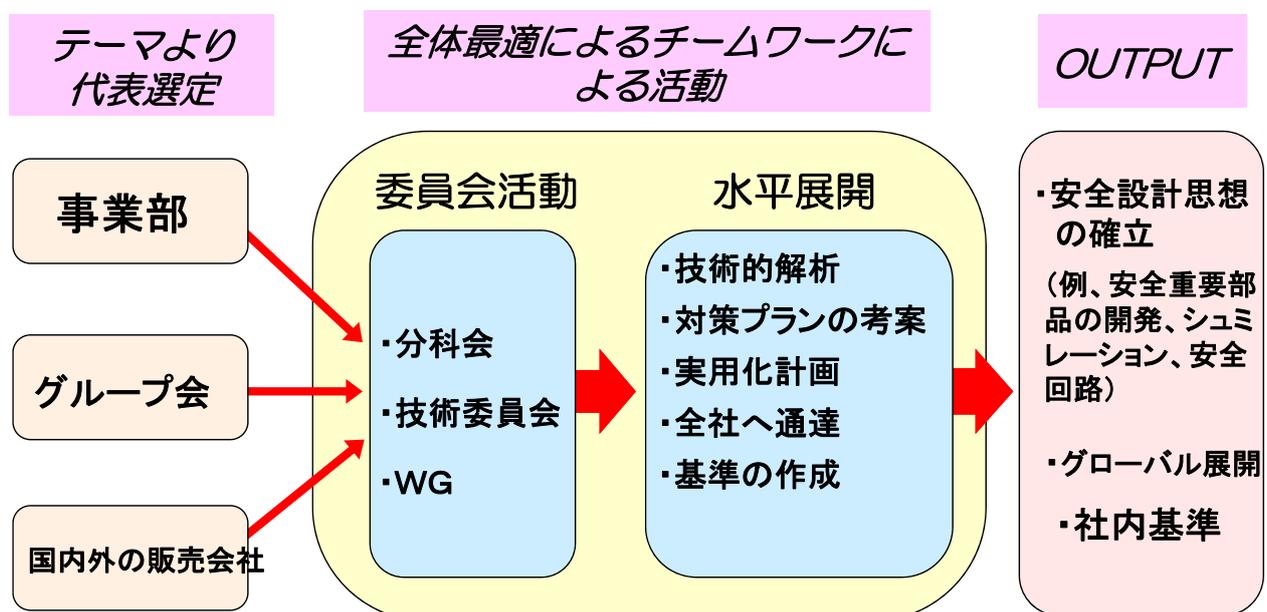


部のメンバーの意識向上面で 苦労したこと・上手くいったこと

～成功の秘訣はチームワーク～

事業部と協働で実質安全活動 ～本社の製品安全部門が主催～

数テーマが同時進行・達成したら解散、また新しいテーマ設定



・もし、メーカーに勤務していた時代に表彰制度があったら、何をきっかけに応募しようと思ったか

民生機器と産業機器の社内の横断的体制が成立
→ 民生機器部門で応募したかった

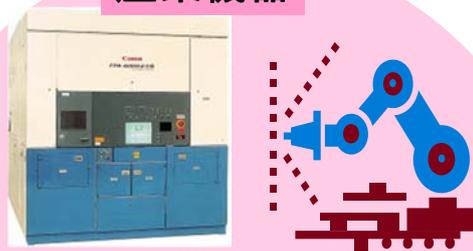
民生機器



1. 大量生産(売り切り)
⇒ **リコールのリスク**
2. 一般環境 ⇒ **子供の対応**

国際安全規格(1層)
電安法、UL、低電圧指令(欧州)
独自の実質安全の考え方

産業機器



1. 小ロット、特注
⇒ **設計段階での安全確保**
2. 製造現場 ⇒ **労災問題**

国際安全規格(3層構造)
労働安全衛生法、OSHA、機械指令(欧州)
横断的な設計思想の構築

(大型IT印刷市場)
POD

2. 審査を通じて感じること

- 1.製品安全への強い責任感を持つ人が多数おられたことを知り、感心する。多数のメーカー、小売業、サービス業の現地審査のヒアリングで肌で感じる。
- 2.電気製品のリコール、不具合対応は、小売業様の地道な活動で支えられていることを知る。技術で全てを解決することはできない。顧客に一番近い小売業様の力があってこそ市場の製品安全性が保たれている。
- 3.製品の安全性は、電気製品だけでなく幅広い業界の活動で支えられている。玩具、スポーツ器具、介護機器、靴、靴、下着、家具等多数の企業。

3. 応募する意義

- 1.審査に応募することで自社の製品安全の水準が認識できる。良い点、弱い点等が具体的にわかり、次の目標が明確になる。
- 2.いままでの製品安全への自分の意義を再認識できる。本当に役にたっているのだろうか？と謙虚に考えるきっかけになる。
- 3.審査に応募すれば、他社、他業界の製品安全の体制、水準が気になる。優れた見識をもつ会社を知り、学ぶことは大切である。